

＝公益財団法人 日韓文化交流基金＝
平成27年度 日本大学生訪問団 団員募集要項(韓国外交部招へい)

日本国外務省と大韓国外交部は毎年、大学生を対象とした招へい事業を相互に行っています。今年度は「文化コンテンツ」というテーマのもと、大韓国外交部の招聘にて韓国の様々な文化や歴史を学び、韓国の方々との交流を通じて韓国社会や日韓関係に対する理解増進を目的として実施します。

なお、この事業は日本政府の「JENESYS2015（対日理解促進交流プログラム）」としても位置付けられ、韓国滞在中に開催予定の「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」に参加し、日本について知ってもらうためのブース運営に参加していただく予定です。

未来に輝く大学生のみなさん！たくさんのご応募をお待ちしています！

「JENESYS2015(対日理解促進交流プログラム)」とは…

日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、将来、各界にて活躍が期待される優秀な人材を招へい・派遣するものです。人的交流を通じ、我が国の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘することで、我が国の外交基盤を拡充し、さらに、被招へい者・被派遣者に日本の外交姿勢や日本の魅力等を積極的に発信せしめ、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進に寄与することを目的としています。

事業概要

(1) 主催者

日本国外務省、大韓国外交部

(2) 実施機関

公益財団法人日韓文化交流基金、韓国国際交流財団

(3) 日程

事前説明会	出発日	帰国日
9月14日(月)	9月15日(火)	9月24日(木)

<事前説明会>

内 容：趣旨説明、日程等の説明、連絡事項伝達、渡航に関する準備など

時 間：14：30～18：30（予定）

開催場所：日韓文化交流基金会議室

(4) 実施内容

韓国滞在中の日程編成及びそれに伴う手配などは、本件の韓国側事務局である韓国国際交流財団が行います。

実施例（諸事情により変更が生じる場合があります。）

研 修 例	
9月15日（火）	韓国へ移動、到着
16日（水）	講義、歓迎昼食会、学校訪問、韓国文化体験、視察など ホームステイ（1泊もしくは2泊）
17日（木）	
18日（金）	
19日（土）	
20日（日）	日韓交流おまつり 2015 in SEOUL ボランティア活動 （日本体験ブースの運営やボランティア活動を予定）
21日（月）	韓国文化体験、視察など
22日（火）	
23日（水）	
24日（木）	日本に帰国

※昨年開催された「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」については下記 URL を参照下さい。
<http://www.omatsuri.kr/japan/index.asp>

(5) 募集人数・応募資格

日本大学生訪問団に参加する **団員28名** を募集する。

- ① 日本国籍もしくは日本の永住権を有し、日本の短期大学、四年制大学及び六年制大学の学部_に在籍していること。
※永住権を有する方は、応募時の書類に永住権を証明し得る公的証明書のコピーを添付してください。
- ② 韓国に継続して1か月以上滞在した経験がないこと。
- ③ 訪韓時に **満30歳以下** であること。
- ④ 平成27年9月14日の事前説明会及び10日間の全日程に参加できること。
- ⑤ 団員決定後、当基金が課す課題の提出が可能であること（事前のリサーチ、事後のレポート提出を予定）。
- ⑥ 韓国滞在中に予定されている「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」の会場におけるブース運営・ボランティア活動、及び渡韓前の事前準備に積極的に取り組めること（浴衣等の和装をお持ちの方は、おまつり当日、和装での活動をお願いする予定）。
- ⑦ 健康面を含めた必要な自己管理が可能であること。
- ⑧ 日本に帰国後、当基金及び外務省が行う定期的なアンケートへの協力が可能なこと。また、今回の訪問での経験を学校または公共の場における報告会、ポスターや写真、インターネット等による情報発信が可能なこと。
※ 過去に日本政府の派遣事業による派遣歴のない者を優先致します。

(6) 経費負担

<主催者負担>

- ① 往復航空運賃、空港使用料及び航空保険料
- ② 韓国における滞在費
- ③ 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」への出展費用
- ④ 出発前日の宿泊費（東京都内又は出発空港近郊で宿泊予定）
- ⑤ 出発前日、事前研修会会場から宿舎及び出発当日の出発空港までの貸切バス代

<参加者負担>

- ・ 自宅から事前説明会会場、帰着空港から自宅までの交通費
- ・ 日程中、公式訪問先に贈る記念品代（3,000円程度）

(7) 応募書類と応募手続き

- ① 当基金ホームページの[応募フォーム](#)からウェブ入力し、仮受付番号を受ける。

※「①応募フォーム」に入力。情報を送信すると仮受付され仮受付の番号が表示されます。この仮受付番号は、次の「②応募自由記述文」、および「③在籍大学の教員による推薦状」各フォームの右上欄に記載していただきますので、番号を必ず控えておいてください。

- ② 応募フォーム入力送信完了後、当基金ホームページから[応募自由記述文フォーム](#)をダウンロードし、必要事項を記入する。
- ③ 当基金ホームページから[在籍大学の教員による推薦状フォーム](#)をダウンロードし、在籍大学教員による必要事項の記入を受ける（推薦教員の署名・捺印等が必要）。
※推薦者<在学大学の教員：教授、准教授、講師（非常勤含む）>1名が推薦できる学生は2名までとする。
- ④ 必要事項をすべて記入した「②応募自由記述文」と「③在籍大学の教員による推薦状」を応募書類送付先に郵送する。

「②応募自由記述文」と「③在籍大学の教員による推薦状」は可能な限り一つの封筒に入れて郵送してください。別送する場合は、その旨をメモ等に記載し、同封してください。

(8) 応募締切日時

- ◆ ①「応募フォーム」の送信：平成27年7月2日（木）PM5時
- ◆ ②「応募自由記述文」と③「在籍大学の教員による推薦状」の郵送：
平成27年7月2日（木）当日消印有効

- ・ ファクスや電子メールでの応募は不受理となりますのでご注意ください。
- ・ 郵便物の未着などの事故を防ぐため、発送を記録できる方法（特定記録郵便、書留、宅配便など）での送付をおすすめします。
- ・ 応募締切日時までに①、②、③すべての書類が揃わない応募は不受理となります。

※応募書類各フォームは、当基金ホームページ「日本大学生訪問団（韓国外交部招へい）団員募集について」のページからダウンロード等をしてください。

(9) 選考・決定

- ① 3つの応募書類（応募フォーム、応募自由記述文、在籍大学の教員による推薦状）の受領が確認できた後、当基金から整理番号を**haken@jkcf.or.jp**のアドレスより電子メールでお送りします。（メールを受信できるように設定してください。）※7月13日（月）を過ぎてもメールを確認できない場合は、お手数ですが、当基金日本大学生訪問団担当<TEL：03(5472)4323>までお電話にてご連絡下さい。
- ② 選考の結果は、8月3日（月）までに当基金ホームページにて団員決定者の整理番号を発表します。
- ③ なお、選考過程及び書類審査通過の可否、選考結果の可否や理由等に対するお問い合わせには、一切お答えできませんので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先・応募書類送付先>

公益財団法人 日韓文化交流基金 日本大学生訪問団（韓国外交部招へい）担当

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-12-1 虎ノ門ワイコービル 4階

TEL 03(5472)4323 FAX 03(5472)4326

e-mail: haken@jkcf.or.jp

業務時間：9:30～12:30、13:30～17:30（土日祝日を除く）